

守口市立 庭窪小学校

五年 アビドワ ローラ

通つちやいけない！黄色い信号

私は少し遠い習い事に行っている。その習い事に行く時は二つの信号を通らなければいけない。

「その二つの信号はすぐちがつている。それはなんなの？」って、それはもちろん長さのちがい。一つ目の信号はきよりも短いし待つ時間も少ない。けれども二つ目の信号はきよりも長いし、待つ時間も一つ目の信号の待つ時間よりうーんと長い。だから私は待つ時間がたいくつだから、自転車を速くこいで信号の色が黄色になっても、どうしても行きたくなくなってしまふ。そういう時、私はいっっちゃだめ！ということを知りながら、つい行ってしまうことがある。

今考えると、知っているのにしてしまふってとてもダメな事だと思う。だってこれ、例えば私がしてしまった事を別の人が車に乗りながらし、おまけに私もそんな事をしてしまったら、たまたまぶつかり死んでしまふ事もありえるからだ。

私とその車に乗る人はどっちも悪かった。けれども、そこでふつうに歩いている人にぶつかることもある。辛い死ななくても骨折してしまったりする事がある。何も関係ない人がこんな目にあうなんてとてもかわいそうな事だ。

こんな少しの不注意（私がしてしまった事）は自分には害がないかもしれないけど、他の人には命をうばうほど大きなことになってしまふ事がある。これらの事を考えると、とても悪いことと知ったから、これからは自分のためにも他の人のためにも二度としないように気を付けようと思った。

このような不注意は数えられないほどある。自分が知らない、気づいていない間にもやってしまう事がある。私にとっても、たぶんみんなにとってもそれはとてもこわい事だ。

そんな事をなくすには一人一人にできる事はある。それを世界中の人々がすると、自分も他の人も毎日が安全にすごせるかもしれない。